



防災通信



加入世帯
回覧

2026年8月号
和合町自主防災隊

「防災倉庫は、災害時の地域の拠点となる場所です。 知っておきましょう！！」

各部隊防災倉庫

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| 1部:和合台公園(3部3組) | 2部:浜松リハビリテーション病院東側(2部3組) |
| 3部:馬生宮下公園(3部5組) | 4部:青空子供の遊び場(4部5組) |
| 5部:中山公園(5部4組) | 6部:ゴミ集積所48番横(6部2組) |
| 7部:三嶋神社駐車場(7部1組)…R8秋移設 | 8部:ロイヤルタウン和合公園内(8部3組) |
| 本部防災倉庫:馬生会館下駐車場(3部5組) | 避難所用倉庫:泉小学校体育館裏 |

※防災倉庫には、各種資機材、備蓄用食料、水などを備蓄しています。

大規模災害が起こった時の自主防災隊の流れ

- ① 災害対策本部が泉小学校に設置される
- ② 各部防災倉庫に部隊を立ち上げる
※本部と部隊は連携を行いながら災害対応を行います(デジタル無線機を使用)
※本部は統括指令を主に行い、部隊が中心となって活動を行います
- ③ 市の判断により避難所が開設される(私たちの地域は泉小学校体育館)

大規模災害が起こった時の部隊の働き

部付きの副会長・部隊長・部隊長補佐・組長・組長補佐、各防災班長、班員が協力して、自分たちの地域において防災活動を行います。

※場合によっては他の部との連携も必要な場合があります(本部からの指示)

防災倉庫に入っている主な資機材(防災活動には倉庫内の資機材を使います)

常備品: 部隊旗、机・椅子、アルミ毛布、簡易トイレ(凝固剤・トイレ用テント)、生理用品、トイレットペーパー、ビニール袋、地図、名簿、筆記用具、ガムテープ、ブルーシート、蓋つきバケツ、LED ランタン

非常食: 個食のアルファ米、飲料水、乾パン(基本は各家庭での普段からの備蓄をお願いいたします。緊急用として本当に困った人用の備蓄です)

資機材: 担架、救急セット、消火用バケツ、飲料水用ポリタンク、一輪車、リヤカー、ジャッキ(枕木)、ロープ、鉄線ばさみ、ノコギリ、つるはし、ハンマー、スコップ、コードリール、工具など

※ 防災倉庫のカギは、部隊長が管理しています。

和合町自主防災隊

松山美佐